

全学共通科目「男女共同参画とジェンダー」(2010年)

授業内容(予定)

1. 10/7 ガイダンス
2. 10/14 男女共同参画とジェンダー
男女共同参画とは何か、ジェンダーとは何か、これらの概念がつけられた経緯を概観し、何故このような学習が必要なのか、受講生と一緒に考える。(人間発達環境学研究科 朴木佳緒留)
3. 10/21 休講
4. 10/28 現代日本のジェンダー問題(概要)
現代日本のジェンダー問題について、労働、生活、ジェンダー再生産のメカニズム(教育)問題に焦点をあてて概述し、ジェンダー問題の基本を考える。(朴木)
5. 11/4 神戸大学の男女共同参画推進
神戸大学では平成19年度に男女共同参画推進室を設置し、「理系女性研究者支援」を中心とした支援策を展開している。大学における男女共同参画推進策について神戸大学の現状やめざすところを述べる。(朴木・男女共同参画推進室)
6. 11/11 国際関係とジェンダー
武力紛争や平和構築などにおいて、女性と男性は同じようにかかわり、同じような影響を受けるか。「ジェンダー」というレンズを通して、武力紛争を中心に国際関係を見る。
(国際協力研究科 R・アレキサンダー)
7. 11/18 科学と男女共同参画
理系の女性研究者数を増やすために、文科省は、「科学技術分野における女性の活躍促進」事業を開始した。男女共同参画の視点から理系の女性研究者の現状と課題を考える。(特別顧問 相馬芳枝)
8. 11/25 倫理とジェンダー
人間の平等や公私の区別とジェンダーとの関わり、ケアの倫理と正義の倫理の関係などのトピックを解説しながら、倫理とジェンダーについて検討する。(国際文化学研究科 宗像恵)
9. 12/2 家族とジェンダー
ジェンダーという視点からみた日本家族の特徴を諸外国と比較しながら議論する。とくに「近代家族」のもつ性別役割分業という特性に注目しながら議論を進める。(人文学研究科 平井晶子)

10. 12/9 世界のジェンダー問題（留学生の発表）
数人の留学生に自国のジェンダー問題について発表してもらい、ジェンダーは身近な、そして世界的な問題であることを理解する。合わせて、日本のジェンダー問題について「世界の中の日本」という視点で相対化した理解を深めたい。
（留学生センター リチャード・ハリソン）
11. 12/16 「あなたと私の素敵な関係～デートDVを防止するために」（ワークショップ）NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ
徳永桂子他（公開授業）
「DV」を「愛情」と「勘違い」していませんか？この二つは、密接な関係にある場合があります。よりよいコミュニケーションと愛情を育むためのワークショップを行います。
12. 1/13 ジェンダーとセクシュアリティ
私たちの性、ジェンダー、セクシュアリティは、個人のことのみならず、国連安保理や人権委員会といった国際機関が取り上げる事柄だ。ジェンダーとセクシュアリティのそういった今日的な意味を一緒に探る。（国際協力研究科 R・アレキサンダー）
13. 1/20 教育とジェンダー
ジェンダーは再生産されます。そのしくみを教育問題として考えます。合わせて、ここまでの授業の小括をします。（朴木佳緒留）
13. 1/27 労働とジェンダー
現代日本の労働問題について考察する。
（男女共同参画推進室 中原朝子）
14. 2/3 DV防止講演会（予定）
DVは犯罪です。しかし、日常的には必ずしもそのように認識されていないようです。DVとは何か、どうすれば防止できるか、講演してもらいます。（公開授業、伊田広行）
15. 2/10 予備